

文化飛翔

講師(指導者)の紹介・派遣レポート
～地域の文化芸術活動支援事業～
よこがお～会員紹介～
トピックス&インフォメーション
リレーエッセイ文化の小径

2011
春号
Vol. 8



講師(指導者)の

紹介・派遣レポート

地域の文化芸術活動支援事業

山口県文化連盟では、県内各地で行われる各種文化教室、学校での部活動等で実技指導などを行う講師(指導者)を紹介・派遣し、地域の文化芸術活動をサポートする事業を行っています。

これまで、平成二十一年度は延べ十八回、九人、平成二十二年度は延べ十八回、六人の講師を、幼稚園や保育園、学校、公民館等に派遣しました。今回は、その中から美祢市立淳美小学校と柳井市立柳井西中学校での取組をご紹介します。

淳美小学校 合唱教室・合奏教室の開催

講師(合唱) 山口県合唱連盟 桑原 智恵さん
講師(合奏) 山口県音楽教育連盟 芝口 英夫さん

昨年の九月、美祢市立淳美小学校の担当の先生から、「美祢市音楽祭への出演に向けて、子どもたちの合唱と合奏のレベルアップを図りたい。」との相談を受け、当連盟から二名の講師を派遣しました。合唱は山口県合唱連盟の桑原智恵さん、合奏は山口県音楽教育連盟の芝口英夫さんをお願いしました。

十月十八日午後二時に小学四年生から六年生までの四十七人の生徒たちが待つ体育館を訪問。生徒たちは緊張した面持ちでしたが、桑原さんが課題曲のタイトル「フレンドシップ」の意味について考えてみようという生徒たちに投げかけると、英語に不慣れな生徒たちは、日頃よく聞く「フレンド」という単語をヒントにみんなで見解を出し合い一つのイメージをつかんだようです。

イメージを共有した後はいよいよ技術指導が始まります。一つ一つの歌詞の意味をかみしめながら声の強弱やリズム、ハーモニーに気をつけるよう桑原さんから指示が飛びます。最初の頃に比べて見る見る上達していく生徒たち。今回の桑原さんの指導は、生徒たちにとって表現することの楽しさ、素晴らしさに触れる良い機会となったことと思います。

さて、一週間後の十月二十六日、この日は合奏指導の見学のため、再び淳美小学校を訪問。前回同様、四十七人の生徒たちが楽器を手に体育館でスタンバイ。芝口さんは生徒たちのデモ演奏を聞いた後、直ちに指導を始められました。あらゆる楽器に精通されている芝口さんは実演を交えながら指導され、その熱意に生徒たちも一生懸命応えます。

指導は、奏でる一つ一つの音の強弱や長短そして息継ぎのタイミングにまで及びます。課題曲はテレビ番組「情熱大陸」のテーマ曲だけれども知っているだけに完成度の高い演奏が求められます。最初

は遠慮がちに演奏していた生徒たちが、最後には自信に溢れる力強い演奏をするように変わっていました。

二週にわたり表現することの楽しさ、素晴らしさを知った生徒たちに文化芸術活動の担い手として、この体験をいろいろな場面で生かして欲しいと思います。最後に、淳美小学校の担当の先生から、この事業は生徒だけでなく先生にとっても専門的知識や技術に触れることができ有意義な時間だったとの感想をいただきました。

先生の感想

合奏指導の芝口先生には、基本的な楽器の扱い方から細かな奏法まで、幅広く、また詳しく教えていただきました。合唱指導の桑原先生は、言葉や音を一つひとつ大切にされ、歌詞の意味を考えさせながら、丁寧に教えていただきました。

両先生共に、子どもたちの実態に合わせて、大変親切にご指導くださいました。始めは緊張していた子どもたちも、先生方の明るく朗らかなお人柄や雰囲気、そして、時にユーモアを交えながらの楽しいお話に、すっかり気持ちもほぐれ、ご指導に引き込まれていったように思います。また、専門的で熱意溢れる先生方のご指導は、私たち教師にとっても大変参考になり、改めて音楽の楽しさや素晴らしさに気づかせていただきました。

生徒の感想

私は、ピアノ伴奏をしました。前奏がこれで良いのか、いつも不安でした。でも、先生に、「これでいいよ。」と、言ってもらえて、ほっとしました。それから、たくさん練習して自信もついて、もつと上手に弾けるようになりました。また、先生のアドバイス通りに、強弱や気持ちも入れながら弾けるようになりました。

私たちは、先生に教えていただいたことを思い出しながら、一生けん命に練習しました。その結果、以前より、みんなの気持ち一つにまとまった演奏ができるようになった気がします。そして、音楽祭では、自分たちの力を全部出してがんばり、いい演奏ができました。ありがとうございました。

忘れられない 子どもたちの純真さ

(山口県合唱連盟 桑原 智恵)

十一月の美祢市音楽祭まであとひと月、本格的に取組を充実させる適切な時期に伺うことができました。課題の「フレンドシップ」は、子どもたちが互いの友情を確かめ合いながら歌うことができる清新な二部合唱曲ですが、変声期に移行中の小学男子には歌いたい気持ちを素直に声にできるかが私自身不安でもありました。

体育館に集まった子どもたちは、どの子も好奇心いっぱいの目と素朴な歌声。曲の持つ力にはまだ気づくことのできない段階でしたが、歌詞の意味を投げかけ考えることで理解も深まり、ピアノ伴奏の六年生北村さんの音に自信が出て、ビート感を明確にとクラベスを鳴らし始めた頃には、全員が音楽を身体で感じ心と声を合わせて歌っていたように思います。また、終了時に自身の



練習課題を明らかにできていたことは嬉しいことでした。
「いっしょに未来 歌おう」というフレーズを、淳美小の子どもたちの未来を思いながら、私もときどき歌っています。純真さを忘れずに精進したいと感謝しております。

講師として参加して

(山口県音楽教育連盟 芝口 英夫)

合奏の楽しさは、表現力の多彩さと、ダイナミックスにあると思う。



美祿市の小学校音楽祭に向けて、子どもたちと先生方が一生懸命練習してきた曲である。

ほとんど仕上がっていたが、気がついた点を、少し細かく指導した。子どもたちは、真剣な表情で私の一言一言を聞き漏らすまいとしていた。おかげで、だんだんと表現力の豊かな合奏に仕上がっていった。子どもたちの反応がよく、私も、大変気持ちよく楽しく指導できた。また、先生方にとっても、指導法の参考になったというのであった。

音楽会が終わって、「自信を持って楽しく演奏できました」という内容のお礼の手紙をいただいた。私のつたない指導が、お役に立てたのなら、これほど嬉しいことはない。

柳井西中学校 俳句学習の開催

講師 現代俳句協会 片山 淳子さん

次の報告は、昨年度に続いて本事業を活用いただいた柳井西中学校の取組です。

柳井西中学校では伝統として俳句に取り組んでおられ、今回は全校生徒を対象とした総合学習の時間に講師を派遣しました。

講師は柳井西市在住で熱心に作句活動に取り組んでおられる現代俳句協会の片山淳子さんです。

一月十四日の五校時、体育館に全校生徒が集合、まず俳句の「自選と推敲の方法」の基礎を学びます。自分の作品の季語の使い方や句のリズム、流れなどを再考し、発想を変えてみたりしながら、よりよい作品になるように考えてみることに大切さを教わりました。

六校時、生徒たちは各教室に戻り、五校時で学んだことを踏まえながら、自分の作品の自選と推敲を行います。

片山さんが各教室を巡回し、生徒たちからの質問に答えていきま

す。生徒たちは片山さんに自分が俳句に託した思いを伝え講評を待ちます。片山さんは生徒の思いをやさしく受け止めなが



らの確に助言を与えます。生徒たちは俳句を通じて自分の思いを表現することの喜びや楽しさを学んだようです。これからは俳句を柳井西中学校の伝統として継続し、俳句の魅力が学校を超えて広めて欲しいと思います。

先生の感想

講師の片山先生には、昨年度に引き続きご指導いただいております。わかりやすく丁寧な俳句の魅力を教えていただいたり、吟行や俳句鑑賞会にも生徒とともに参加いただいたりと、寄り添って生徒の言葉に耳を傾けてくださる先生です。継続的に指導を受けることで生徒の意識も変わり、季節を感じる感覚や言葉をつかむ感性も磨かれ作句活動も意欲的になっています。作句が習慣として定着しつつあることを、うれしく思っています。

生徒の感想

柳井西中学校は、俳句と合唱に伝統的に取り組んでいる学校です。僕は俳句・学習委員会として、文化祭で俳句観賞会の発表をしました。自作の俳句について説明をするのですが、僕は、なかなかうまく発表できませんでした。しかし、片山先生のお話を伺っていると、自分の俳句の良いところや思いを紹介するのではないのかと思いました。また、鑑賞会を通して、どの俳句も個性が光っていて、いい句だなと思うようになりました。また、俳句教室では、推敲の仕方を僕の俳句を例に出して、どんな点に気をつけたらよいかを学びました。僕は、季語を説明している句になっていないことがあったので、とても参考になりました。これからも片山先生から学んだことを生かし、作句活動をしていきたいです。

講師として参加して

(現代俳句協会 片山 淳子)

柳井西中学校は、自然の環境に恵まれた中、俳句学習を伝統として、情感豊かな人間形成を目指しておられます。

春秋の吟行や発表の場で、共に学習しておりますが、俳句を作るためには、観察力、表現力が磨かれ、選句・鑑賞するには、洞察力も養われます。

中学生らしい純粹でひたむきな作品に出会えること。生き生きとした表情に接することが、私の喜びとなっています。熱意ある先生方への感謝と、生徒たちへの期待を込めて、参加させていたたいしております。



その他の取組紹介

公民館での
パフォーマンス教室
(11月)



保育園でのフラワー
アレンジメント教室
(12月)



このコーナーでは山口県文化連盟の会員の皆さんを紹介しています。

柳井文化連盟

会長 藤麻 功
〒74218714
柳井市南町111012
☎082012212111
内線331

柳井文化連盟は、平成十二年七月二十六日に発足し、平成十七年二月の市町合併により、旧大畠町文化協会も加わり再スタートいたしました。現在、文芸、美術、邦楽、洋楽、舞踊、大衆芸能・演劇、学術、生活文化、鑑賞、その他の十部門四十四団体が構成されています。

主な活動としては、毎年十一月に開催される柳井市表彰式において、文化功労者の表彰を行っています。平成二十二年度は、生活文化や美術部門から五名の方々に表彰しました。また、平成二十二年十二月には、初めての試みとして文化講演会を開催しました。講演の内容は、幕末期に活躍した大畠地区出身の僧月性の足跡をたどる、というものです。柳井市大畠地区には、旧町当時から、月性の遺徳を偲び、歴史に残した功績の大きさを広く知らしめようとの活動が盛んでした。



柳井文化連盟としてもその活動を継承し、益々の発展を願います。このたびの文化講演会の開催となったものです。幸い、大畠地区のご出身で、京都大学の名誉教授であり、月性研究の権威となられた海原徹先生に講師をお願いすることができました。当日は、柳井市文化福祉会館の大会議室が百四十名の聴衆でいっぱいになりました。先生から日本全国に及ぶ月性の活躍の足跡を学び、あらためて、その偉大さを感じました。今後の郷土文化の高まりがおおいに期待される所です。

これからも、色々な分野にわたる各団体の活動を支援して、地域の芸術文化の向上と発展に努めてまいります。

徳地文化協会

会長 蔵 周次
〒74710231
山口市徳地堀152713
徳地地域交流センター内
☎083515210217

徳地文化協会は、徳地地区民の文化に対する理解と関心を高めるとともに、文化団体相互の連携を密にし、広く文化の創造と振興を図り、あわせて文化の高揚に努めることを目的に昭和五十六年四月に発足しました。

現在、二十七団体、他に個人会員をあわせて二九七名が加入し、平素それぞれの分野で活動を行っています。会員の高齢化、減少化の中にあつて、最近、フォークダンス、フラダンスの会や能楽の会が新しく入会したことは嬉しい限りです。

文化協会としての主な活動は、会員が一堂に会して十月に「徳地文化祭」、十一月の「とくぢフェスティバル」にあわせて「徳地文化展」を開催しています。また、徳地は俊乗坊重源上人が東大寺再建の用材を求めた土地であり、それに関する国指定の史跡や文化財等を有しているため、「徳地をもっと知ろう会」と銘打って、それらを巡るバスツアーや講演会などを開催しています。

さらに、今日、協働のまちづくりが推進される中にあつて、文化協会も地域づくり組織に加わり活動しています。一例として、以前、徳地の各地で行われていた盆踊り「さんさ踊り」を復活させ、夏祭り等の交流の場で踊り、普及を図っています。

徳地文化協会は、小さい団体で、しかも、地域の実情が色々ありますが、徳地住民の文化とのふれあいの機会や交流の場を大事にし、楽しく活動していきたいと考えています。



豊浦文化協会

会長 安田 和正
〒75916301
下関市豊浦町川棚6180117
☎083177211236

昭和五十四年に創立された本会も、平成十四年（二〇〇二年）にリニューアルされて早十年を迎えようとしています。

現在二十六団体二四五名で、賛助会員も数名加わった組織ですが、文化性の高い活動を目標に会員一丸となつて頑張っています。



主な活動は次の通りです。
◎とよら文化フェスタ「豊響（ほうきょう）」：展示・芸能の会員が総力を挙げて行います本会の一大イベントです。各方面の団体・個人との繋がりを大事にしながら、より高い文化活動への育成を図っていく事を目標にしています。

◎文化講演：下関市を中心に活躍されている文化人の講演です。◎会報発行：将に手作りの会報です。

◎研修旅行：行き先々の文化研修は勿論のこと、地域でのお土産物然り、また食文化を堪能することも、この旅行の楽しみでもあります。◎地域探訪：意外と知られていない、身近な地域文化の探訪です。◎下関市芸術文化祭への参加：一市四町の合併に伴い、相互交流のもと始まりましたこの芸術祭も四回目を終わりました。次年度からの連合会体制に伴うこの事業の更なる飛躍が望まれます。◎その他地域の各種イベント等に積極的に参加。

◎将来の抱負：今年度から本会の名称を「豊浦文化協会」と改名いたしました。これを機に、地域文化の掘り起しはもとより、交流による更なる文化の育成を進めたいと思います。少子高齢化の中、若い人達へのアタックを忘れてはなりません。私たちの役割の大きさに気が引き締まる思いです。

社日本舞踊協会山口県支部

支部長 坂東三嘉寿美
〒75110823
下関市貴船町2114119
☎083123213932

(社)日本舞踊協会は、日本舞踊の昂揚と発展を図り、併せて日本舞踊家の職能を確立し、もって我が国の文化の進展に寄与する事を目的とする団体として、平成十二年十一月十日に、四十七都道府県中二十二番目の支部として山口県支部が設立されました。現在は坂東流、花柳流、藤間流、林流、猿若流、山村流、若柳流、錦川流の八流派から結成されています。

昨年は山口県支部設立十周年に当たり、山口県日本舞踊祭を下関市民会館大ホールにおいて開催いたしました。一部は子ども、一般の愛好者による作品、二部は名取による本衣裳舞台作品、そして、第二十一回国民文化祭やまぐち2006の時の、長唄交響曲「山口、メルヘンうたの彩」を再演いたしました。これからも大切な作品として、

末永く日本舞踊家はもとより、愛好者そして一般の方々にも伝承してゆきたいと思っております。今後の活動といたしまして、山口県総合芸術文化祭の分野別フェスティバル参加、山口県日本舞踊祭・ワークショップ、舞踊家のための講習会等の開催をすることにより、県内の日本舞踊各流派及び愛好者の活動と相互交流を図り、伝統芸能の楽しさ面白さを未経験者の方たちにも普及、伝承に努めるよう、会員一同希望を持っており、また、これからの支部会員が全県域に在住していますので、市町はじめ山口県の文化向上に尽くしてゆけたら、この上ない喜びと存じます。



山口県洋舞連盟

理事長 加藤 耀子
〒75310083
山口市後河原24711
☎083192211963

平成十五年六月、林義郎氏を会長に(平成二十二年より林芳正氏に継承)発足。

会員はクラシックバレエ・現代舞踊のいずれも全国組織に加盟する県内の団体。下関・宇部・山口・防府・周南・岩国のこの道二十年から六十余年間、研究所を開設する八団体。

会員総数四〇〇名を越す同好者が各研究所において技術の修得や趣味として等、それぞれの目標を持ちレッスンの励み、各自リサイクルの開催のほか、全国的公演にも参加。

平成十六年「発足記念公演」を山口情報芸術センターにて開催、以来二年に一度の合同公演を五か所において開催、いずれも盛況裡に終了。明年は宇部市において第七回の会を檢討。

なお、本年は山口国体・山口大会の年に当たり、開会式典、オープニング参加の要請も受け、たまた今出演者の人選のほか、マスケットソング「フアイト!ちよるる」の振付・指導にも協力。

いずれも前回の国民文化祭の溢れる熱気を思い起こし、再び表現でき、洋舞連盟として、又、参加者一人ひとりの良い思い出になることを希い、協力させていただきます。



山口県吹奏楽連盟

理事長 中井 勝
〒74110072
岩国市平田5152110
岩国商業高校内
☎0822713512220

山口県吹奏楽連盟は第一回山口国体式典吹奏楽団編成のために、昭和三十三年一月に誕生しました。全国高等学校総合文化祭、全国高等学校総合体育大会、韓国慶尚南道親善訪問、中国山東省へ親善訪問の各事業を行い、平成十八年には第二十一回国民文化祭・やまぐち2006が開催され、周南市文化会館での吹奏楽の祭典などを運営して参りました。そして、平成二十年十一月十六日に、山口市において、創立五十周年記念式典を執り行いました。

本連盟の構成は小学校・中学校・高等学校・大学・職場・一般の六部門から成っており、現在二〇七団体が加盟しております。活動の中心は何と言っても吹奏楽コンクールで、最近では小学校・中学校・大学の活躍が目覚ましく、山口市立上郷小学校は今年度で小学校バンドフェスティバル全国大会三年連続金賞という偉業を成し遂げられました。また、周南市立岐陽中学校・防府市立桑山中学校・山口大学もここ最近全国大会に出場しております。今は、来たるべき「おいでませ!山口国体、山口大会」に向けて、式典音楽隊の練習が始まったところです。

加盟団体数二〇七、加盟人数七、〇〇〇名を誇る本連盟は、山口県文化向上の推進役としてこれからもますます頑張っていきたいと思っております。



山口県からの お知らせ

■情報満載!

県ホームページ「文化情報やまぐち」

県内で開催される文化イベント情報や文化芸術団体、芸術家・指導者等に関する情報のほか、県民の皆様は文化芸術に親しみを持っていたりするための様々な文化芸術情報を収集し提供しています。

主なコンテンツ

◇ イベント・情報案内情報

山口県文化連盟加盟団体や文化施設等が行う文化芸術に関するイベント等の情報を提供しています。

◇ 文化人材バンク・文化芸術団体一覧

地域や学校等において実技指導や講義などを行うことのできる芸術家・指導者等や、県内で活動されている文化芸術団体の情報をデータベース化し公開しています。

◇ 見た！聴いた！やまぐち文化レポーターがゆく!

「やまぐち文化レポーター」が、県内各地で開催される文化芸術活動取材して、様々な視点から文化芸術の魅力レポートします。

◇ 文化ボランティア

文化ホール、美術館、図書館などの文化施設等において文化芸術活動の側面的な支援に取り組んでいるボランティア活動団体の情報を掲載しています。
*文化人材バンク・文化芸術団体の情報の充実に向けて、多くの皆様の御登録をよろしく願います。
*各種情報については、直接、インターネットから登録することも可能です。

◇ 文化情報やまぐちホームページアドレス

<http://bunka.pref.yamaguchi.lg.jp/bunka/>

◇ お問い合わせ先

山口県文化振興課

TEL 083-9333-2610

FAX 083-9221-4829

E-mail a19300@pref.yamaguchi.lg.jp

文化芸術活動に対する各種支援情報をご紹介します。
*今後募集が予定されているものを含め、主な事業を掲載しています。

(二財)山口県文化振興財団が行う文化活動支援事業追加募集について(予定)

I 平成二十三年度 地域文化活動支援事業

○対象者

山口県内で主に活動する民間の団体又は個人

○対象事業

- 創造的、独創的な事業や地域文化の振興につながる事業
- 地域文化の振興に寄与する事業
- 文化交流を促進する事業
- 地域文化を担う人材及び団体を育成する事業
- 文化意識の高揚に資する事業

*平成二十三年十月から翌年三月までに行われる事業が対象です。

○助成金額

助成対象経費から入場料等収入を控除した額の二分の一以内の額(自己負担金の額の範囲内で一〇〇万円を上限)

II 平成二十三年度 郷土文化活動支援事業(追加募集)

○対象者

山口県内で主に活動する郷土文化活動を行う民間の団体

○対象事業

特色ある郷土文化活動を保存・伝承するための事業

- 他の郷土文化を行う団体との交流事業
- 郷土文化活動を広く普及する事業
- 衰退した郷土文化を掘り起こし、伝承する事業
- 郷土文化の後継者を育成する事業
- 郷土文化を保存及び伝承するために、その活動を記録する事業
- 郷土文化に関する衣装、用具等を修繕又は更新する事業

*平成二十三年十月から翌年三月までに行われる事

業が対象です。

○助成金額

助成対象経費から入場料等収入を控除した額の二分の一以内の額(自己負担金の額の範囲内で三〇万円を上限)

III 募集期間等(一、II共通)

○募集期間

平成二十三年六月中旬～七月下旬(予定)

○申込方法

助成金交付申請書を最寄りの市町文化行政担当課に提出(詳細は今後県文化振興課ホームページに掲載予定)

○選考方法

(一財)山口県文化振興財団の審査委員会で審査し、採択及び助成額を決定します。
※申請があつた事業がすべて助成されるとは限りません。

IV お問い合わせ先

(一財)山口県文化振興財団事務局

〒753-8501

山口市滝町1-1 山口県文化振興課内

TEL 083-9321-2717

平成二十三年度 エネルギア文化・スポーツ財団助成事業(後期)

スポーツ財団助成事業(後期)

◇対象者

中国地域に所在する文化・スポーツに関する団体

◇対象事業

美術の展示活動、音楽の公演活動、伝統文化の保存・伝承・復活・復元活動及び発表活動、アマチュアスポーツの振興であつて、中国地域在住者が過半数を占め中国地域内において行われる活動

*平成二十三年十月一日から平成二十四年三月三十一日までに行われる事業が対象です。

◇助成金額

助成対象経費の二分の一を限度
(原則一〇万～五〇万円/一件)

◇募集期間

平成二十三年五月～六月（予定）

◇申込方法

当財団所定の申込書に必要事項を記入の上、県文化振興課、社会教育・文化財課又は学校安全・体育課）又は財団事務局に提出。
※申請があつた事業が全て助成されるとは限りません。

※詳細については、財団が二十三年五月に発行する募集要項を参照してください。

◇お問い合わせ先

エネルギー文化・スポーツ財団事務局
(<http://www.gr.energia.co.jp/bunspo/>)

〒730-1004

広島市中区小町4-33 中国電力内

☎ 082-5442-3639

FAX 082-5442-3644

E-mail Z100005@pnet.gr.energia.co.jp

文化連盟の講師が地域の文化芸術活動をサポート
地域の文化芸術活動支援事業

学校や地域で文化芸術活動をされている皆様には、さらなるレベルアップのため、本事業を有効に活用していただきたいと考えております。

また、こうした地域や学校等のニーズに添えていくためには、講師（指導者）陣を一層充実させていたいただきたいと思っておりますので、会員の皆様の積極的な登録をお願いいたします。

◇実施の流れ

①申込み（利用者）↓②講師紹介（事務局）↓③打合せ（講師・利用者）↓④実技指導・講座等実施

◇経費負担

山口県文化連盟の負担で、一回の指導につき交通費相当額二〇〇〇円（税額控除後）を支給
・申込者（利用者）に謝金、交通費の支給は求めない
・お花やお菓子などの材料費は申込者（利用者）の負担

◇講師（指導者）の要件

・山口県文化連盟に加盟する団体（正会員）に所属すること
・地域や学校等の文化芸術活動において実技指導・講義などを行えること

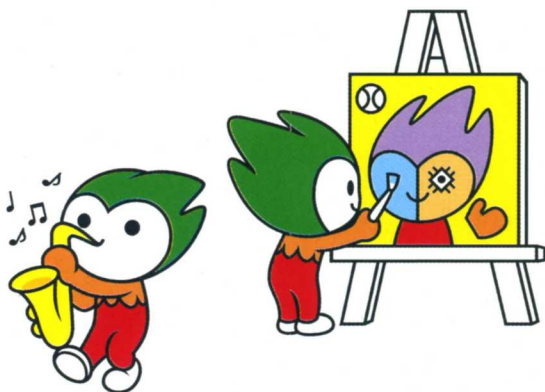
★随時講師の登録を受け付けています。

※二～三ページで講師（指導者）による実技指導の様子を紹介しています。

四月からおいでませ！山口国体・山口大会文化プログラムが始まります

山口県では、十月に開催される山口国体・山口大会を盛り上げるため、四月から、おいでませ！山口国体・山口大会文化プログラムとして、様々なイベントが開催されます。

文化プログラムは、多くの県民が芸術・文化活動を通じて山口国体・山口大会に参加することにより、県民総参加の大会を目指し、山口県の豊かな自然や風土、歴史にはぐくまれた芸術・文化を広く全国に紹介するとともに、本県の芸術・文化の振興を図るために実施するものです。



最新情報はウェブサイトでご覧いただけます。
<http://www.choruru.pref.yamaguchi.lg.jp/>

パソコンからは 検索



携帯電話は 2次元コードを読み取ってアクセス

「ちよるる募金」に御協力ください！

平成23年開催の「おいでませ！山口国体」、「おいでませ！山口大会」の成功に向け県民の皆様にも両大会を支え、盛り上げていただく取組として、「おいでませ！山口国体・山口大会募金（愛称：ちよるる募金）」を行っています。

集まった浄財は、両大会のボランティア活動や花いっぱい運動等国体県民運動などの大会運営に活用します。皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

おいでませ！山口国体・山口大会募金推進委員会

〒753-8501 山口市滝町1-1 県政資料館2階

TEL: 083-933-4800

<http://www.choruru.pref.yamaguchi.lg.jp/kokutai/bokin/>



文化の小径

愛される演劇・地域直送便

山口県演劇協会の軌跡



山口県演劇協会
副会長
武部 忠夫(海峽座)

昭和三十年代、県庁の一隅で十数団体の県内劇団が集まり、山口県演劇協会は結成されました。初代会長にフィン

ランド叙事詩『カレワラ』の翻訳で有名な山口大学教授森本覚丹氏を選出し基礎固め。しかし、十年後にはきびしい消長浮沈の波をかぶり、結局

継続し生き残ったのは、宇部・芸術座、下関・海峽座、岩国・劇団のんたの三劇団のみになりました。(現会長は劇団のんた代表藤谷光信氏)

現在、この三団体がそれぞれの地元で演劇文化の根を張り、トライアングルで放射状に県内各地に新鮮なとれとれのナマ舞台の「感動」を、地域直送便のように届けています。たとえば、それは各劇団の定期的な自主公演の舞台であったり、山口県演劇祭であったり、県内小・中・高校への

青少年劇場の巡回舞台であったりと多彩な活動実績を継続しています。

岩国・劇団のんたは創設五十三年目、三回の海外公演とともに地域エリアの柱島等への離島公演も実現。宇部・芸術座は創設六十三年目、戦

後の県内文化をリードし、その中核にいつも芸術座のきわだつ存在感。下関・海峽座は創設五十八年目、総ステージ四〇〇超、釜山、東京公演とともに県内を七十回以上巡演。

まさに三矢の遺訓のように、この三劇団の結末で、演劇に接する機会の少ない地域でも合同の演劇祭を自主的に開催した実績もあります。もちろんこれからも産地直送便のように鮮度あざやかなナマ舞台を創造することを、折あるごとに申し合わせています。脚本を選び抜き、イメージ

を喚起し、何か月もの集団稽古を積み重ね、美術、衣装、音響、照明等のスタッフ陣の協力でやつと誕生する舞台は、総合芸術の白眉と呼ばれる一回性の時空の結晶です。そして何よりも、その先待つ時空を共有する観客との出会い、

ふれあいの瞬間こそが演劇の醍醐味にほかなりません。

継続は力一という金言は、地域演劇の場合、その力を観客が教えてくれるということ。だから私たちは、より地域に結びつき、より良い舞台を創りあげて観客のみならずの期待と向き合わなければならぬ。と自戒しつつ、地域特産の舞台をめざして、山口県演劇協会が築き上げた半世紀の活動に、さらに新しいページを加えたいと願っています。

継続は力一という金言は、地域演劇の場合、その力を観客が教えてくれるということ。だから私たちは、より地域に結びつき、より良い舞台を創りあげて観客のみならずの期待と向き合わなければならぬ。と自戒しつつ、地域特産の舞台をめざして、山口県演劇協会が築き上げた半世紀の活動に、さらに新しいページを加えたいと願っています。

賛助会員を募集しています

山口県文化連盟の活動に御協力いただける賛助会員（個人又は団体）を広く募集しています。

年会費 1口 5,000円

*賛助会員の皆様には、会報、その他文化情報誌をお届けします。

*入会受付は随時しておりますが、会員期間は入会日からその事業年度の3月31日までとさせていただきます。

申込方法

所定の入会申込書兼振込書にて年会費のお振り込みをお願いします。

詳しくは、山口県文化連盟事務局までお問い合わせください。

編集後記

東北地方で発生した大震災の様子が、日々メディアを通じてもたらされ、その想像を絶する現状にただ唖然とするばかりです。自分に何かできることがあるのではないかと、何かしなくてはならないのではないかという思いに駆られるのは私だけでしょうか。文化や芸術は人々の生活に安らぎと感動を与え、人々に生きる喜びをもたらすと言いますが、このような惨状において、すぐは無理にしても、文化・芸術に携わる私たちだからこそできる何かができると信じています。

みんなの力で成功させよう！ 2011



第66回国民体育大会

おめでとう！山口国体
君の一生けんめいに会いたい

第11回全国障害者スポーツ大会

おめでとう！山口大会
君の一生けんめいに会いたい